

情報連絡員報告を中心とした

県内の中小企業動向

平成27年2月期

情報連絡員50名 回答数50名

全体概要 【前月からの動き】

※下記の数字は情報連絡員からの回答数を表します。
 (「好転(上昇、増加)」、「不変」、「減少(悪化、低下)」の3択回答のうち、「不変」を除く「好転」又は「減少」の回答数)

前月比

- ▶製造業では、売上高において「増加した」業種は0から8に増加。「減少した」業種は11から1に減少。
- ▶非製造業では、売上高において「増加した」業種は8から5に減少。「減少した」業種は14から15に増加。
- ▶業界の景況では、「好転した」業種は1から4に増加。「悪化した」業種は9から8に減少。

前年同月比

- ▶製造業では、売上高において「増加した」業種は3から4に増加。「減少した」業種は9から7に減少。
- ▶非製造業では、売上高において「増加した」業種は8から7に減少。「減少した」業種は11から14に増加。
- ▶業界の景況では、「好転した」業種は4から6に増加。「悪化した」業種は15から13に減少。

製造業

豆腐製造

【県内全域】

全国にある業界団体が一致団結して組織運営し、豆腐の価値観を上げようとしている。

酒類製造

【県内全域】

消費税増税後の落ち込みの影響から脱し、好転の傾向も見えつつあるが好転したとまではいえな

乳製品

【県内全域】

組合として6月に牛乳月間の取り組みとして1か月、メーカー対抗戦を実施する。

製材

【県内全域】

消費税増税の影響か、売上減。

製材

【木更津】

2月は南用材船2隻、ロシア材船1隻入船。在庫数量は増加したが、荷動きはよくない。

印刷

【県内全域】

売上は、平均すると前月比で若干だが増加した模様。官公需の年度末に向けての受注に加え、統一地方選挙に係る行政並びに政党や候補者からの仕事も動き始めている。さらに季節需要の商品や年度末に向けて消費喚起目的の商業印刷物が動いている。円安の影響による食料品等の値上げが相次ぎ、

消費者の財布の紐はなかなか緩まず、価格競争が続いている。

電気鍍金

【県内全域】

恒例の春闘が始まり、大手企業の軒並み賃上げの発表があったが、中小零細企業では未だそのような気配はない。国内経済は、株価は値上がり景気回復の兆しは出てきているようだが、中小零細企業では、踊り場での足踏み状態で前に進むことができないでいるのが現状である。

鉄工

【千葉】

ここ数か月間の報告と同様、各社動向に特段の変化見られず、横ばい推移の状態が続いている。

機械部品製造

【野田】

ここへきて、操業度が好転してきている状況に見える。

機械部品製造

【流山】

良い話も悪い話題もないので、景況に変化はないと思われる。

機械部品製造

【柏】

プラス面として3月年度末受注が一部あり。マイナス面として3月コストダウン条件の受注。1月は各社よくない。

金属製品製造

【船橋】

横ばい状態が続いている。行政の支援対策に期待もある。

■土砂採取 **【県内全域】**

前回と大きな変化なし。

■非製造業

■総合卸売 **【千葉県・東京都】**

前年は消費増税前の特需で一時的に売上増加したが、今年は例年ペースに戻っている。円安を理由とするメーカー側からの納入価格引き上げ要請が強くなっており、販売価格の引き上げ転嫁に難航、生産性低下している。

■食肉卸売 **【千葉市他】**

と畜する豚の確保が依然として厳しい状況にある。

■建築材料卸売 **【県内全域】**

輸出産業・為替・株式関連は活況を呈しているが、内需産業・輸入産業は停滞から疲弊へ。建設関連業種は全て落ち込んでいるし、今年は無論、来年も前年割れ必至との見方が大勢。オリンピックもあり期限を切られた工事もあるが東京に限定され、周辺的首都圏各県は全国平均より大幅に落ち込む様相である。期待感がしばみマイルドは悪くなっている。

■自動車解体 **【県内全域】**

スクラップ価格がさらに下落したため、景況悪化。4月1日よりヤード設置適正化条例が施行され

るため現状よりも記録、管理棟のコストが増えることが予想される。

■乾物卸売 **【県内全域】**

景況感は引き続き低調。平成26年総務省家計調査の結果、千葉市は全国2位となり4年連続日本一は達成できなかった。本年は「日本一奪還キャンペーン」を展開し、消費の喚起を行っていききたい。

■卸売 **【茂原】**

気候の上昇とともに景気が良くなることを祈るばかり。

■電気機器小売 **【県内全域】**

家電といえばテレビで、利益の2〜3割を占めていたが、今は数%にすぎない。メーカーでもテレビが足を引っ張っている。松下でさえ家電は、せいぜい2割と聞く。家電店が蔑になるのは自明の理。見捨てられないように、販売を共にする量販と切磋琢磨して頑張りたい。消費税の影響がこれほど厳しいとは考えられなかった。

業界の動きについて、東芝は医療機器に、日立は鉄道の輸出に、松下は介護に力を入れるようである。個店は販売の減少、高齢化、後継者不在で苦戦中。

■青果小売 **【千葉市】**

雨・雷の影響が出たのもあり、

前月比はマイナスとなった。相場も高値止まりの商品が多く、収益の上昇には至らなかった。

■中古車仕入・販売 **【県内全域】**

新車販売の低迷によるタマ不足は依然続いている。相場は高値で推移している。これは輸出の好調にさらされている状況で南アジア、アフリカ向けの需要が大きく作用している。

■小売 **【東金】**

ファッション関連品は客単価が上がらず、件数も減少傾向。春物、新入学関連は動き始めている。食品関係はメーカー等の値上がり徐徐々に始まっている。

■小売 **【野田】**

春物衣料の動きが悪い。客数は昨年並みであったが、客単価が下がったため、売上が伸びなかった。

■小売・サービス **【柏】**

商店街的には人の出も少なく良くいと言う声は殆ど聴かない。昨対では大きく落とした店が多いようだ(10%以上)。

■建設揚重 **【県内全域】**

引き続き、操業状況は良好だが、オペレーターが不足している。

■遊覧船 **【鴨川】**

昨年度は、雪などの天候不順で

欠航等が多かったが、本年度は、天候に恵まれ前年比44・9ポイント上昇。

■一般廃棄物処理 **【千葉】**

前月よりも良い状態となったが、まだまだ業界の大幅な景気好転には程遠い状態である。

■学習塾 **【県内全域】**

2月は例年私立高校に合格内定した中3生が退塾するケースが多く、そのために売上が減少する傾向にある。

■ソフトウェア **【県内全域】**

IT特需の影響が顕著。人材不足である。また、組合企業において大型案件も動き始めている。

■建設 **【県内全域】**

前月の公共工事落札状況は、対前月比微減。対前年同月比20%強の減少であった。通年ではマイナス14%(対前年比)で推移している。

■貨物運送 **【野田】**

2月はなんとなく翳りを感じる。人出不足の割に運賃が上がり、賃金も低いまま推移している。

■輸出入 **【県内全域】**

2月の売上は前月比は減少。前年同月比は不変であった。